

レファレンス・トピック

質問：緊急通報は110番と119番だけ？
(※【 】は府立図書館の請求記号)

緊急通報用の電話番号は国によって番号が異なります。
日本の場合、警察機関への通報に使われている「110番」と、火事や救急の通報に使われている「119番」に加え、密漁や海難人身事故など、海上における事件・事故の緊急通報用電話番号として「118番」が使われています。
※インターネット情報はいずれも2026年1月18日時点です。

図書

■『海上保安レポート 2011』(海上保安庁 2011 おわりに)【557.8/69N】

平成22年に「118番」の運用開始から10周年を迎え、「118番」をより広く知ってもらうために毎年1月18日を「118番の日」に制定したことが書かれています。(p.9)

■『よくわかる情報通信：歴史から通信のしくみ、IoTまで(楽しい調べ学習シリーズ)』(高作義明/著 PHP 研究所 2019.7)【J547/1NX】

「緊急電話のしくみ」の項で電気通信事業者に課せられた義務や、緊急通報の仕組みが解説されています。(p.36-37)

雑誌

■「コラム1「118」は海保の番号」『世界の艦船』2019年6月号増刊<902>(海人社 2019.5.15)(p.3)【P55/14NX】

118番が導入されるまでの経緯が簡単にまとめられています。
なお、このコラムによると118番は「認知度はまだ低く、間違い電話やいたずら電話の占める割合も大きい」ようで、2018年にあった緊急通報約43万5,000件のうち、「99パーセントが間違いなどの無意味な通報」だったようです。

WEB

■海上保安庁ホームページ

・「海の『事件・事故』は118番」

<https://www.kaiho.mlit.go.jp/doc/tel118.html>

「救助要請が必要な事件・事故等の一例」として「海難、人身事故に遭遇した、または目撃したとき」「密漁・密輸・密航事犯等の情報を得たとき」「油の排出等を発見したとき」「不審船、漂流・漂着木造船を発見したとき」の4つが挙げられています。

■警視庁ホームページ

・「こんなときこそ110番」

https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/jiken_jiko/110/110_110.html

110番通報の際に伝えてほしいことや110番につながらない時の対処法などが載っています。

■総務省消防庁ホームページ

・「消防救急無線・119番緊急通報」

https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/kyukyumusen_kinkyutuhou/119.html

公衆電話からの119番通報のかけ方や公衆電話の場所、緊急通報した際のやり取り例などが載っています。

■外務省海外安全ホームページ

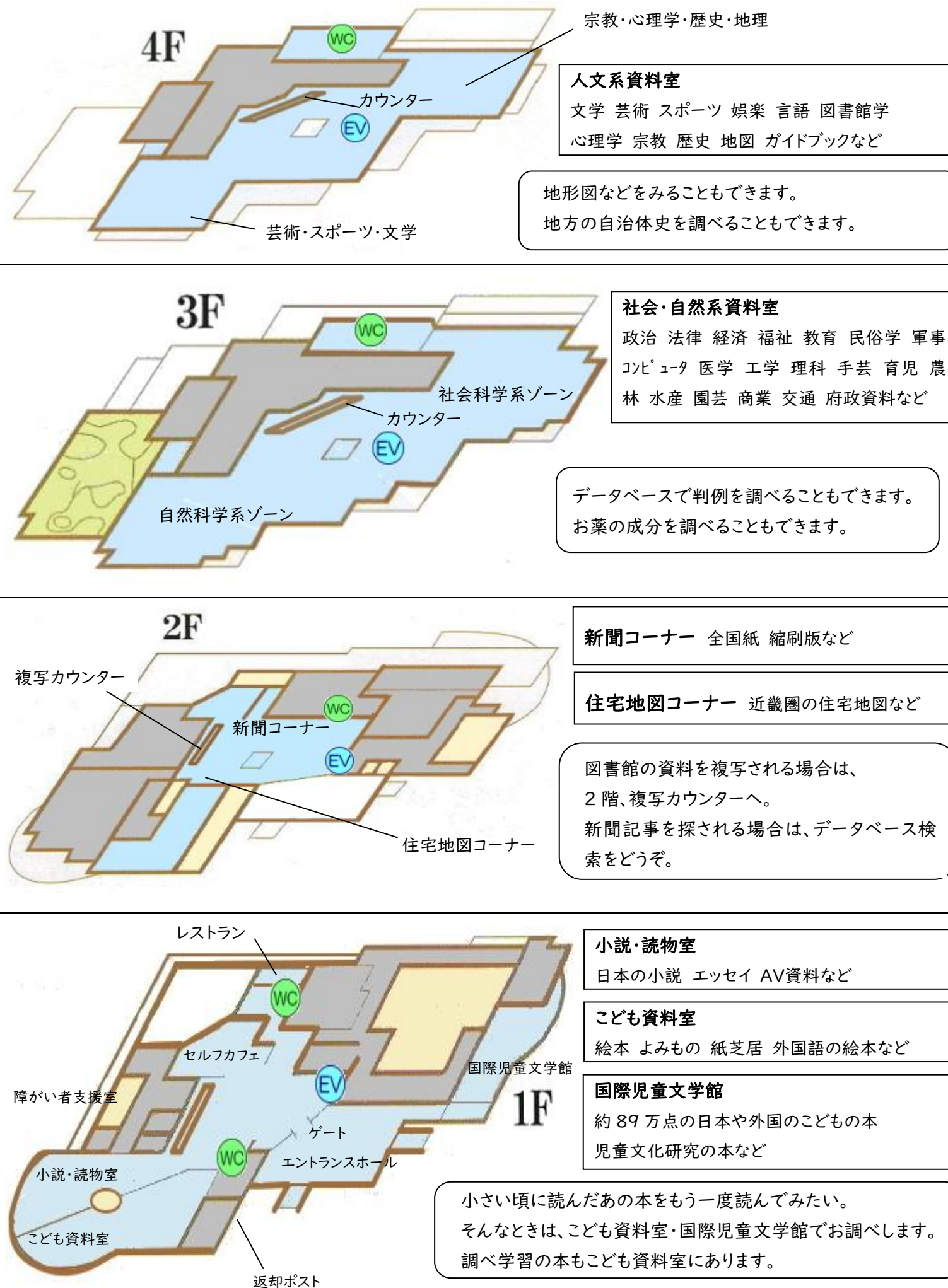
・「国・地域別『安全の手引き』」

https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/safety_guidance.html

国・地域別に「安全の手引き」が作られており、「緊急連絡先」が載っているものもあります。

こんな資料を探しているけど、探し方がわからないというときはぜひ、お気軽にレファレンスサービスをご利用ください！

館内レファレンス案内図



あなたの知りたいこと
調べたいこと
お手伝いします！

レファレンスサービスのご案内

暮らしの中の疑問から、
仕事で必要な調査まで、
図書館の資料やデータを使って
調べ物や資料探しのお手伝いをする、

それがレファレンスサービスです。

例えば・・・

トピック

緊急通報は110番と119番だけ？

緊急

回答例は裏面で！

〒577-0011 東大阪市荒本北1-2-1

☎06-6745-0170 FAX 06-6745-0262

大阪府立中央図書館

作成日 2026年1月